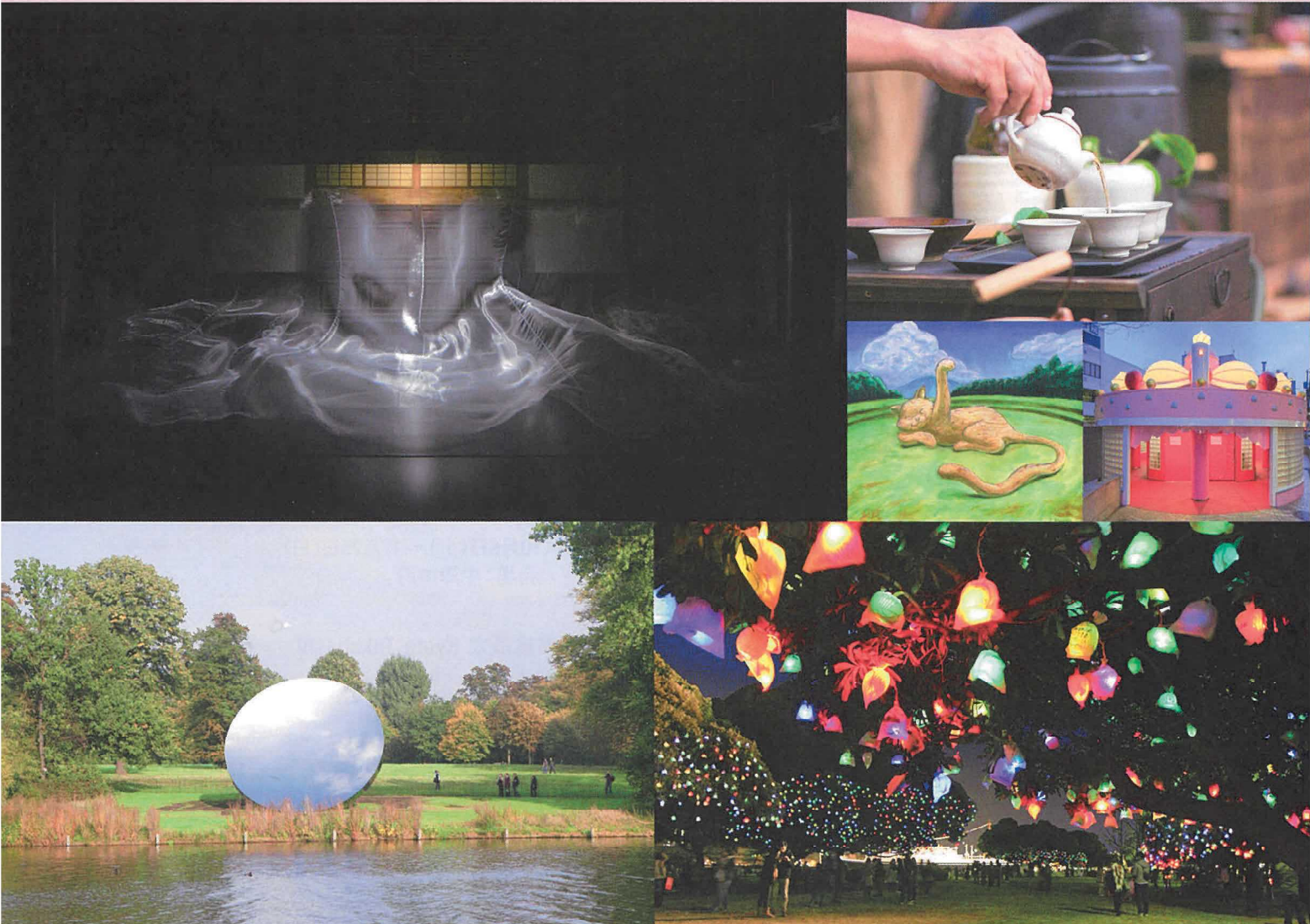


2018年 秋限定! いつもと違うおおいたに会いに行こう

CULTrip

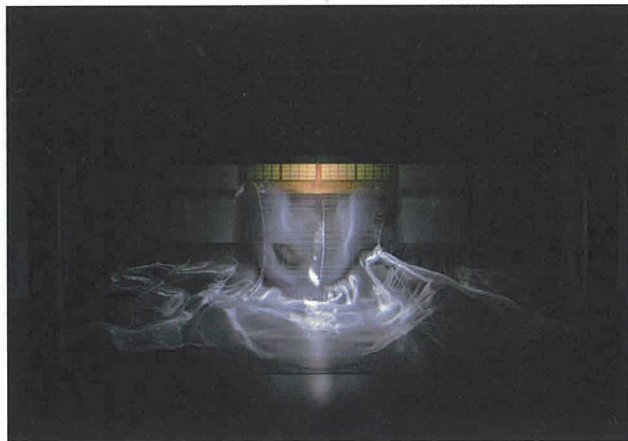
おおいた アート篇

まだ誰も見たことがない新しいおおいたの風景



Pick Up 1

会期中常時開催している展覧会



『Liminal Air Space-Time』2013年



参考作品: 『Echoes Infinity -Moment and Eternity-』 2016年 Photo by Ito Tetsuo 2016 Aichi Triennale Organizing Committee

日田市

あのハイブランドも魅了した 繊細かつ大胆なアート

江戸時代に天領として栄えた水郷日田では、現代美術家・大巻伸嗣がその歴史や文化から着想した作品を発表します。パリのエルメス セーブル店やルイ・ヴィトンのファッションショーなどに展示され話題となった『Liminal Air』シリーズの新作をはじめ、市内各所に複数の作品が点在します。歴史ある町並みを散策しながら、アートによって繊細かつ大胆に生まれ変わる空間を体験してみませんか？

水郷ひた芸術文化祭2018
『水の森アートプロジェクト』(仮)

10月6日(土)～11月25日(日)
会場: 日田市内

大巻伸嗣 Shinji Omaki

1971年岐阜県生まれ。「第6回岡本太郎記念現代芸術大賞特別賞」(2003)をはじめ、多くの賞を受賞しており、国際的に活躍している。現在、2016年～東京藝術大学美術学部彫刻科およびGAP専攻教授を務める。



Photo by Katsuhiro Ichikawa

中津市

幻想的な光のアートが誘う 歴史と名勝をめぐる旅

東京駅100周年記念ライトアップ、京都・二条城のライティングプロジェクトなど、光や映像による大規模な作品を多数手がける高橋匡太が『なかつ水灯り2018』に参加! 市民とともに創る幻想的な光のアートや、期間限定の大規模ライトアップ作品など、市内各所で複数のライティングプロジェクトを展開します。会期中はほかにも国民文化祭を彩る催しがたくさん。まちなかのアート展示や中津の多様な景観、文化をあわせてお楽しみください。

なかつ水灯り2018
高橋匡太によるライティングプロジェクト

10月6日(土)～11月25日(日)
会場: 中津市内

高橋匡太 Kyota Takahashi

映像と光を巧みに操りライティングプロジェクト、パブリックワークなど幅広く活躍。京都・二条城、十和田市現代美術館など大規模な建築物のライティングプロジェクトでは、ダイナミックで造形的な映像と光の作品を創り出している。



『ひかりの宴』Photo by 村上美都



商店街で展開する市民参加型作品のイメージ



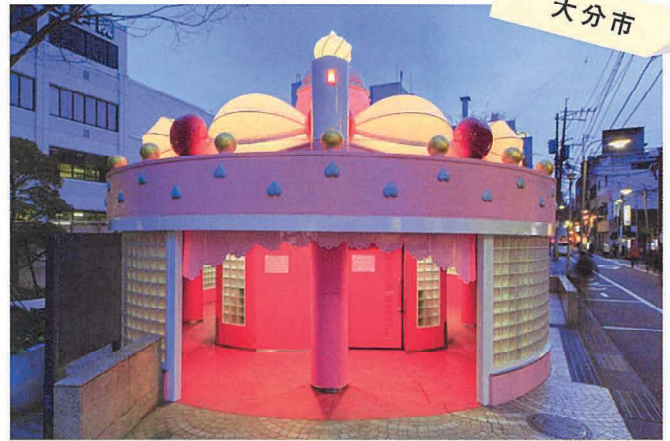
豊後大野市

全長10mの巨大な猫と 丘の上でひなたぼっこ

「日本の近代彫刻の父」とも言われる豊後大野市出身の彫塑家・朝倉文夫は、大の猫好き。その生涯を通じ数多くの猫の彫刻を制作したことにちなみ、彼の母校である東京藝術大学の教授と学生たちが、豊後大野市の木材を使った巨大な猫の作品を制作します。

第14回大分アジア彫刻展・特別企画
—朝倉文夫の後輩たちによる野外制作—
『巨大 寝ころび招き猫』

10月6日(土)～11月25日(日)
会場:朝倉文夫記念公園(豊後大野市朝地町)



大分市

西山 英なこ・笠原美希・春名祐麻『メルティング・ドリーム』 Photo by Yasunori Takeuchi
©大分市アートを活かしたまちづくり推進会議

出会いと発見の 都市型アートめぐり

街を劇場や美術館に見立てた回遊型のアート展。会期中はモザイクアートや壁画作品、空き店舗やカフェを活用した期間限定ギャラリーなど、たくさんのアートが街にあふれています。中心市街地循環バスに乗って、アートと建築をめぐる旅に出よう!

回遊劇場 ～ひらく・であう・めぐる～

10月6日(土)～11月25日(日)
会場:大分市内中心部

Pick Up 2

2日間だけのスペシャルイベント



きつき
大茶会



風情ある城下町で 古今東西のお茶の文化に触れる

杵築市

杵築市では、クリエイティブユニット・grafがプロデュースする『きつき大茶会』が開催されます。「古今東西の喫茶」をテーマに、お茶やスイーツ、フード、茶道具などを販売する『茶々茶マーケット』をはじめ、お茶会やライブなどイベントが盛りだくさんの2日間。飲むこと・食べること・学ぶことで、杵築の豊かな恵みと文化を体感できます。当日夜には城下町に行灯が灯り、琴や尺八の演奏、お茶会などが楽しめる、情緒豊かな夜の祭典『観月祭』も開催されます。

きつき大茶会

10月20日(土)・21日(日)
会場:杵築市内 城下町エリア

graf

大阪を拠点に家具の製造・販売、デザイン、アートから食、イベントの企画運営に至るまで「暮らしのための構造」をキーワードに、暮らしにまつわる様々な要素をものづくりから考え実践するクリエイティブユニット。



Pick Up 3

あわせて行きたいおすすめプログラム



宇佐市

デジタルアートイベントを開催する宇佐神宮

由緒ある神社全体を 光で包むデジタルアート

宇佐市では、世界中で活躍するウルトラテクノロジスト集団・チームラボによるデジタルアートイベントを開催します。緑豊かで広大な敷地に国宝や重要文化財などの歴史的建造物が点在する宇佐神宮を光で包み、幻想的な空間を演出します。

神と仏の祭典 デジタルアート

10月26日(金)～11月7日(水)

会場:宇佐神宮



佐伯市

壁画家・佐倉康之と市民が描く 希望を乗せた虹色の船

佐伯市出身の壁画家・佐倉康之が、豊漁と海の安全を祈念する祭『ジョーヤラ』をモチーフに壁画を制作します。雨上がりの豊後水道の情景、虹色に染まった大漁旗とジョーヤラ船のファンタジーな世界をキッズ+市民とともに描き、佐伯の玄関口を彩ります。

佐伯創生まちなか芸術祭

壁画屋さんの7's感性(センス)

10月6日(土)～11月25日(日)

会場:佐伯消防署(佐伯市鶴岡西町1丁目223番地)



豊後高田市

中井川 由季『丸くなって寄り添う』(左) 『花にうずくまる』(右)
Photo by 今枝あき 花とアートの岬づくりプロジェクト2017-18

秋の心地よい風が吹く 岬の花とアートを五感で堪能

四季折々の花が彩る豊後高田市の長崎鼻では、『花とアートの岬づくりプロジェクト』で、これまで4名のアーティストが作品を設置してきました。今年は五感を刺激する作品を各地で発表している藤本由紀夫を招聘。地域交流を通じて作品を制作・設置します。

花とアートの岬づくりプロジェクト2018

11月4日(日)～11月25日(日)

会場:長崎鼻



竹田市

城下町に息づく 茶の湯文化とアートが融合

芸術文化とまちあるきを楽しみながら、人や地域と向き合うアートプロジェクト。今年は、アートやクラフトの分野で活動しているゲストアーティストと市内在住作家の協働により制作した作品を発表するほか、茶の湯文化とアートを融合させた茶室を制作し、『竹田アート茶会』を開催します。文化を通じた交流を楽しみながら、暮らすように町を歩いてみませんか?

竹田ルネサンス2018

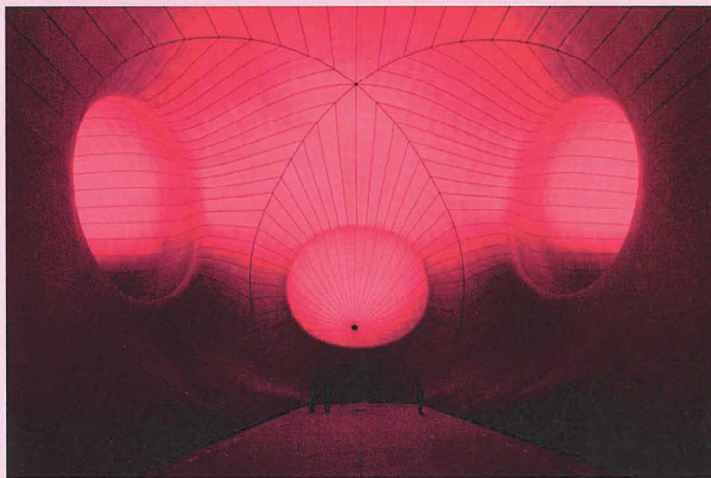
TAKETA ART CULTURE 2018

10月6日(土)～10月28日(日)*土日のみ

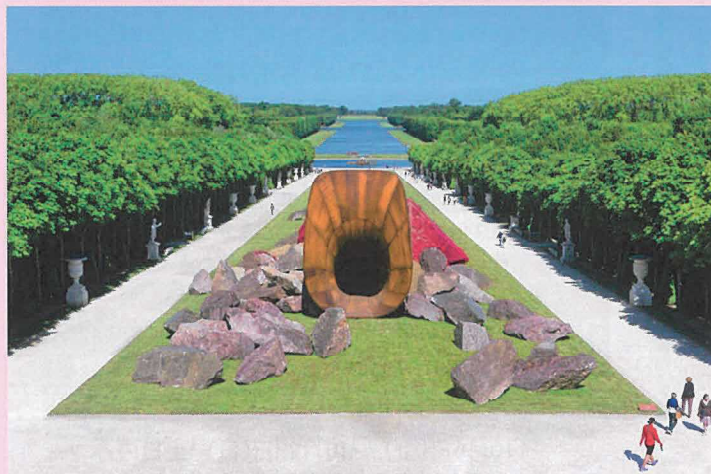
会場:竹田市城下町エリアー帯ほか



「Sky Mirror」2006年 Photo by Seong Kwon Photography © Anish Kapoor, 2018



バリのグラン・パレで披露された巨大な球状の作品。
旧約聖書に登場する巨大な海獣をモチーフとしており、鑑賞者は作品の中に入ることもできる
「Leviathan」2011年 MONUMENTA 2011(Grand Palais, Paris) Photo by Dave Morgan ©Anish Kapoor, 2018



ヴェルサイユ宮殿をまるごと使った展覧会のように
「Dirty Corner」2015年 Photo by Tadzio ©Anish Kapoor, 2018

別府市

世界の巨匠が 湯のまち別府で 新作を発表

毎年1組のアーティストを別府に招聘し、地域性を活かしたアートプロジェクトを実現する個展形式の芸術祭「in BEPPU」。今年は世界トップクラスの現代美術家アニッシュ・カプーアによる、世界初公開の新作を含む国内最大級の個展を開催します。

シカゴ屈指の観光スポットのシンボル作品『クラウド・ゲート』の制作や、ヴェルサイユ宮殿をまるごと使った前代未聞の展覧会などで話題を呼んだカプーア。世界でも注目されているアーティストが、別府で発表する新作は絶対に見逃せません。

アニッシュ・カプーア in BEPPU

10月6日(土)～11月25日(日)

会場：別府公園(別府市野口原)

入場料：前売1,000円／当日1,200円

中学生以下 500円 ＊未就学児は無料

チケットは8月6日(月)より販売開始。
詳細は公式Webサイトにてお知らせします。

アニッシュ・カプーア Anish Kapoor

1954年ムンバイ生まれ。ホーンシー美術学校、チェルシー美術学校で学ぶ。現在ロンドン在住。第44回「ヴェネツィア・ビエンナーレ(1990年)」にイギリス代表として参加するなど、今日最も影響力のある彫刻家の1人として世界的に知られる。



Photo by Gautier Deblonde

アート × カルチャー ツーリズム

芸術文化をテーマに「食」「伝統芸能」「お祭り」など、その地域にしかない体験を求めて旅をするカルチャーツーリズム。現代アートをテーマに県内をめぐれば、いつもと違う特別な大分県にぎっと出会えるはず。

県内一のそばどころ・豊後高田
花とアートの鯛づくりプロジェクト2018

きつき大茶会

養物の似合う城下町・杵築

アニッシュ・カプーア in BEPPU 日本随一の温泉地・別府

地元産ぶどう100% 安心院ワイン

神と仏の祭典 デジタルアート

からあげの聖地・中津

なかつ水灯り2018 高橋匡太によるライティングプロジェクト

水郷ひた芸術文化祭2018 『水の森アートプロジェクト』(仮)

水郷・日田の風物詩 嵐形船

瀬戸大郎の感性を育んだ町・竹田

東洋のナイアガラ 原尻の滝

回遊劇場 ~ひらく・であう・めぐる~

大分の誇るブランド 関めし・関さま

野生のサルと触れ合える 高嶺山自然動物園

初の国宝磨崖仏 白杵石仏

佐伯創生まちなか芸術祭 壁画屋さんの7's感性(センス)

第14回大分アジア彫刻展・特別企画 一期倉文夫の後輩たちによる野外制作『巨大寝ころび招き猫』

竹田ルネサンス2018 TAKETA ART CULTURE 2018

東九州自動車道、大分自動車道、JR日豊本線、JR久大本線、JR豊後本線、大分県庁、大分市、別府市、宇佐市、杵築市、中津市、日田市、竹田市、豊後大野市、佐伯市、津久見市、白杵市、宮崎県、熊本県、福岡県、国東市、豊後高田市、竹田港、別府港、佐賀港、津久見港、白杵港、高瀬船マリンセンター、入島観光フェリー、宿毛フェリー、宇和島運輸フェリー、宇和島運輸フェリー(別府～八幡浜)、宇和島運輸フェリー(白杵～八幡浜)、国道九四フェリー(佐賀関～三崎)、フェリーさんふらわあ(別府～大阪)、フェリーさんふらわあ(大分～神戸)、周防灘フェリー(竹田津～高山)、姫島村村営フェリー(杵築～姫島)、竹田港、周防灘フェリー(竹田津～高山)、姫島村村営フェリー(杵築～姫島)

国民文化祭とは

文化活動の発表・競演・交流の場を提供することで、文化活動への参加や新しい芸術文化の創造を促す国内最大の文化の祭典。

全国障害者芸術・文化祭とは

障がい者の創造性を高め、社会参加を促進するとともに、障がいに対する理解と認識を深める国内最大の障がい者芸術・文化の祭典。

全国持ち回りで毎年開催されているこの両大会を、今年は大分県で開催します。

大分県のテーマは「おおいた大茶会」。子どもからお年寄りまで、障がいのある方もない方も、海外の方も、みんなで楽しめる文化祭を目指します。

会期 2018年10月6日(土)～11月25日(日)

お問い合わせ先

第33回 国民文化祭大分県実行委員会 第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会事務局
大分県国民文化祭・障害者芸術文化祭局 企画・広報課 TEL. 097-529-6283 FAX. 097-529-6287

